

令和元年9月30日
株式会社シーエス・ワンテン
バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社

番組審議会議事録

- ・日時 令和元年9月30日(月) 11時00分～
- ・場所 東京都港区虎ノ門 4丁目
バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社 A会議室
- ・出席者 審議委員総数 7名
(出席委員)
 - 委員長 片岡 朋行(ヴァスコ・ダ・ガマ法律会計事務所 弁護士)
 - 委員
議長 松居 秀之(株式会社ピクス 常務取締役)
 - 関谷 信浩(東放学園専門学校・東放学園映画専門学校 学校長)
 - 竹村 謙二郎(株式会社oricon ME 雑誌事業本部 コンフィデンス編集部 編集長)
 - 野村 達矢(一般社団法人日本音楽制作者連盟 理事長)
 - 芳賀 康浩(青山学院大学 経営学部 マーケティング科 教授)
 - 松尾 健司(株式会社J-WAVE 編成局 エグゼクティブプロデューサー)
- (衛星基幹放送事業者:株式会社シーエス・ワンテン)
 - 福田 泉(代表取締役社長)
 - 谷 俊之(編成局長)
- (番組供給事業者:バイアコム・ネットワークス・ジャパン株式会社)
 - 井股 進(代表取締役社長)
 - 本間 雅彦(クリエイティブ&コンテンツ部 シニアディレクター)
 - 戸田 裕介(クリエイティブ&コンテンツ部 編成/タレント&ミュージック マネージャー)
 - 岡田 純明(コンテンツ・ディストリビューション・マネジメント本部 シニアマネージャー)
- ・審議番組 「Making of MTV LIVE PREMIUM:日向坂46 - 1st Story -」

・放送概要 2019年5月26日(日) 19時～19時30分

・番組内容

MTVが3月14日(木)に開催し、3月23日(土)に放送した「MTV LIVE PREMIUM:日向坂46 -1st Story-」の関連番組として、同ライブイベント当日の楽屋裏やリハーサルの模様、アンコール曲のパフォーマンスなどを特集した番組「Making of MTV LIVE PREMIUM:日向坂46 -1st Story-」を制作し、5月26日(日)に放送した。インスタントカメラを使用し、お互いを撮影しあい、撮った写真を一人ずつ紹介するという形で、デビューを控えたメンバーひとりひとりの表情や個性にフォーカスしたシーンなどを盛り込んでいる。

・委員からの意見・質問とMTVの回答

- 編集基準については、問題となるような表現や発言はなかった。
- リハーサルの様子や開演前のインタビューなど、メンバーの緊張感が伝わるシーンや貴重な舞台裏の様子を紹介する試みは良かった。
- インスタントカメラを使う企画は、少し冗長に感じたが、メンバーの顔が良く見える、寄りのカメラアングルを多用するような構成でファンにとっては満足度の高い演出であった。
- “メイキング”という番組タイトルの割には、実際のリハーサルの模様やライブ前の映像など、いわゆるメイキングシーンが少ない印象を感じた。
- ライブ当日の模様だけでなく、演出や振り付けが決まるまでの様子や練習風景、本番に至るまでの経緯など、もう少し踏み込んだ内容が見たいと感じた。
- アイドルグループの密着番組ということで、クリエイティビティを強調するより、個々のキャラクターを立たせることに重点を置くという演出は相応しかったと感じた。
- ライブ自体の照明や演出などはベーシックな印象を受けた。○MTVならではの切り口、MTVにしかできない演出という点は弱いと感じた。
- 昨今“洋楽離れ”と言われている中、MTVのアイデアで何らかの形で洋楽にリンクさせるようなヒントが添えられると良いと思った。
- ライブ番組を補完するような内容が盛り込まれており、この番組によってメインコンテンツをより深く楽しむことができた。
- デビューしたてのタイミングでキャスティングをしたことで、引きの強いコンテンツとなった。
- 同アーティストのミュージックビデオ特集番組など、複数の関連番組の編成があったということで、立体的な編成には戦略的な意図を感じた。

(MTV側)

前回までにいただいたご意見を反映し、複数の関連番組を編成、またウェブサイトで番組の一部を先行公開するなど、より多くの人に届けるため、より多角的なアプローチを

試みた。



- ・ 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日
今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた令和元年9月30日以降、編成担当及び番組制作者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよう努めていく。
- ・ 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日
令和元年10月以降に、シーエス・ワンテンのホームページに審議会概要を掲載、また、MTVでの放送内でも公表する予定。

以上